

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」富士宮校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令上十分なスペースを確保しています。	3つある支援室を状況により適切に使い分けていきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令上必要となる人数より1名以上多く配置しています。	利用されている方の状態像を踏まえ、必要な人員を配置していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	視覚的な情報伝達を行うとともに、書類は基本的にユニバーサルデザインフォントを基調としています。	段差があり、バリアフリー化に対応できていないため、検討していきたいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日時間を定め、清掃、消毒を行っています。	ハード面にて補修が必要な部分が出てきているため、随時改善をしていきたいと思います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日ミーティングを行い、全職員が、目標に対して現在の支援がどうであるか確認、提案できるようになっています。	継続して行っていくとともに、現在の状況からその方の心理的状态を考慮していきたいと思います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けアンケート実施し、その結果を共有し改善について話し合っています。	今回のアンケート結果を踏まえ、今後も改善に努めていきたいと思います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページを開設し評価及び改善内容を公開しています。	公開していることを周知できるように努めたいと思います。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	まだ第三者評価は受けていません。	検討し、評価を受けた時には結果を周知できるようにしていきたいと思います。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な内部研修、事業所内研修を行っています。	各々の専門分野にあった外部研修にも参加できるような体制を整えていきたいと思っています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的に保護者様、利用者様と面談を行い、ニーズの把握に努めています。	利用者様、保護者様との信頼関係を築き、より正確なニーズの把握に努めていきたいと思っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NCプログラムを利用しています。	必要に応じ、ガイドラインで推奨されている適応行動尺度などを利用していきたいと思っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントをもとに複数領域の目標を立て支援を行っています。	「地域支援」等、注力が弱い分野に対しても、他施設等と連携をし、適切な支援内容が設定できるよう努めていきたいと思っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		毎日ミーティングを行い、全職員が目標に対して現在の支援がどうであるか確認をしています。	確認だけでなく、今後の展望を踏まえ誰もが提案等ができるよう努めていきたいと思っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		主担当の他複数人でチームを組み、プログラム検討を行っています。また、必要に応じケース会議を開いています。	意見を出し合い、より良いプログラムを検討していきたいと思っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		研修に積極的に参加し、より多くのアイデアを取り入れています。	利用者様の様子を敏感に感じ取り、その日の気分や体調に応じて、飽きないような内容になるよう、工夫していきます。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		○		集団でのご希望がないため、現在は個別活動のみの支援計画となっています。	集団活動が必要であるかを検討していきながら、必要に応じてとりいれていきたいとおもいます。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日ミーティング、朝礼を行い、情報共有しています。	危険予知トレーニングも合わせて行っていきたいと思っています。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日ミーティング、報告会を行い、情報共有しています。	些細なことでも意見が交わせるように雰囲気づくりを行っていきたいと思います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		全員が確認できるようにしています。	記録をもとに、OJTをより行えるようにしていきたいと思います。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者や相談支援事業所等と連絡を取りながら、必要に応じて随時見直しをしています。	現在の様子、課題点に注意しながら、適切な支援ができるよう、より良いモニタリングをしていきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて支援員も参加するようにしています。	直接支援する支援員がより多く参加できるよう、努めていきたいと思っています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		療育支援センターへ見学、訪問をしています。	より多くの職員が見学、訪問をし、連携を取りやすくしていきたいと思っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在該当する利用者様がおりません。	該当される方がいる場合は主治医の意見を尊重しながら、連携をとっていききたいと思っています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在該当する利用者様がおりません。	該当される方がいる場合は主治医の意見を尊重しながら、連携をとっていききたいと思っています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	移行支援としては行っておらず、必要に応じて相談支援を通して情報共有を行っています。	保育所等と密に連絡が取れるよう関係を作っていきたいと思っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	移行支援としては行っておらず、就学後にケース会議等の形で連携をしています。	就学前から連携が取れるよう検討していきたいと思っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターへの訪問、見学を実施しています。	継続して定期的に訪問させていただき、助言を受けていきたいと思っています。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		イベント(クリスマス会等)を開催し、どなたでも参加ができる交流の場を作っています。	地域の方により周知・参加していただけるよう努めたいと思います。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		児童発達支援責任者の他必要に応じて指導員も参加しています。	より多くの職員が参加できるように、努めていきたいと思っています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援後に保護者様へのフィードバックの時間を設けています。	認識にズレが生じないようにしっかりと連携をとっていききたいと思っています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		毎回の支援後に相談を受け、時間を設けてアドバイスを行っています。	当事業所だけでなく、研修、ワーキンググループ等の情報提供を行っていききたいと思っています。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、変更時に書面とともに説明をしています。	今後も丁寧に説明を行える時間を取っていききたいと思っています。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		不明な点がないよう、具体的な例を挙げながら、説明と同意を得ています。	今後の展望等もお伝えできるように十分な時間を取っていききたいと思っています。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談を行っています。	必要に応じて他機関と連携しながら、専門機関の情報提供ができるよう努めていききたいと思っています。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者向けのイベント、研修の情報提供を行っています。	当事業所でも開催ができるよう検討していききたいと思っています。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		支援後の他、別時間を設けての助言を行っています。	十分に相談の時間が取れるよう、相談予約等のシステムを検討していききたいと思っています。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報は随時持ち帰れるようにしています。	新しく会報が出た際は保護者様へ周知できるように努めていききたいと思っています。

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類やデータについては鍵付きの棚にて保管させていただいています。	今後も療育上あまり必要ない情報は収集しない等パーソナルデータの取り扱いに留意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚情報を取り入れたり、書類等もわかりやすいようユニバーサルデザインフォントの使用をしています。	今後も書類のフォントはユニバーサルデザインに統一を図っていきたいと思います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○		イベントとして誰でも参加ができるクリスマス会を開催しています。	イベントの機会を増やし、より多くの方に周知していただけるよう努めたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、職員、利用者様ともに自由に閲覧できるようにしております。	周知が浅いため、より多くの方に周知いただけるよう努めていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		場面を想定し、月1回の避難訓練を実施しています。	必要に応じて必要な備品をそろえていきたいと思っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		聞き取りの他、必要に応じてお薬手帳の確認をしています。	了解いただける方にはお薬手帳を含め確認をしていきたいと思っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		全ての利用者様に対してアレルギーの有無を確認しています。	指導時に該当物質と接触が起らないよう留意していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、いつでも閲覧できるようにしています。	ヒヤリハット作成マニュアルに沿って、些細なことでも共有していけるようにしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を設けています。	具体例を示しながら、より理解を職員全体で深めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		重要事項説明書及び契約書に記載し、契約時に説明を行っています。	具体例を示しながら、利用者様、保護者様にご納得いただけるよう、説明していきたいと思っています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮校

保護者等数（児童数）：4

回収数：3

割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100				机上だけでなく、サーキットができるスペースもあり、広々とした中で活動ができています。	ありがとうございます。これからも体を動かせるスペースを確保していきたいと思えます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100				十分でありがたいと思っています。	より職員の専門性を高めていけるようにしていきたいと思えます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100				いつもきれいにされています。	これからも清潔に保ってきたいと思えます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100				親の思いに寄り添ってくれています。	これからも十分にコミュニケーションをとりながら、作成をしたいと思えます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100				子どもに合わせてくれています。	これからも継続していきたいと思えます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33		67		幼稚園に通っているため、求めています。	イベント等で任意で誰でも参加できる活動を増やしていきたいと思えます。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	67	33			子どもが楽しく無理のないようにとアドバイスを頂いています。	これからも継続していきたいと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33	33	33			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	67	33				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	67	33			いつも頂くお手紙で、子どもの様子をきめ細かく伝えてもらい感謝しています。	これからも継続していきたいと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	67			33		保管場所等の周知をしていきたいと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67			33		月に一度訓練を行っております。情報開示の周知をしていきたいと思います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100				週の始めから通えることをとても楽しみにしています。できることが増えて自信に	ありがとうございます。これからも楽しんで頂けるよう、工夫していきたいと思います。

						つながるようです。	
②	事業所の支援に満足しているか	100				とても丁寧に対応していただいています。できないことばかり目についていたが指導員の先生が誉めてくださるので、子どもの良い所に目が向けられるようになりました。	ありがとうございます。これからも満足いただけるよう、スタッフ一同精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。